安心 当物件独自の「防災と共生をテーマとした街づくり」が評価を受け、2010年度のグッドデザイン賞を受賞。 安全

東京都防災都市づくり推進計画に基づき、UR都市機構・北区・地域住民とともに「官・公・民」一体で地域の安心と安全を見つめ誕生したプロジェクト、それがアルティス西ヶ原パークヒルズです。

災害時の防災公園への避難ルートとして機能する自由公開通路の地域提供

住まいの隣に安心してお子様を預けられる区立認可保育所（平成25年4月開設予定）

地域コミュニティ形成の場としてのマンション内集会室・ラウンジの利用提供／ラウンジスペースの隣に、**入居者専用の備蓄倉庫を完備**

消防活動のための防火水槽の設置

地域の交流を促す祭事や安心を育む防災訓練など、**コミュニティ活動の場となるスペースの提供**

非常時にも安心の買物環境

マンション内にドラッグストアを併設。付近には中型食品スーパーから商店街まで揃っています。

都の計画により整備された「防災公園」

備蓄倉庫

非常用食料や毛布など約500名が1週間程度暮らすことが可能な量を備蓄しています。

かまどベンチ

座面を取り外して炊き出し用かまどとして利用できます。

防災パーゴラ

テントをかぶせることで、災害時の活動拠点や一時避難所として利用できます。

災害用トイレ

下水用マンホール蓋を開けて簡易設営タイプのトイレとして使用できるます。

万一の際、自治会で使用するための災害用品を備蓄する「備蓄倉庫」の提供

備蓄倉庫

「飲料水」をはじめ、「ラジオ」や「携帯充電器」、「救急セット」「毛布」「災害対策用トイレ」など、万が一の際の安心・安全を支える様々な防災用品を備蓄しています。

緊急避難場所指定の「西ヶ原小学校」

備蓄倉庫

約500名が4日間程度暮らすことが可能な非常用食料を備蓄しています。

地震や火災など災害時にも安心な歩道の確保

北区の防災街づくり条例により、敷地の外周約900mにわたって、安全な避難路としての幅員を確保するとともに幅約2.5mの歩道を整備

現地は、「都心近接の地でありながら」東京都の中では湾岸エリアとは異なる、固結した地盤の台地に位置する「地震の際に被害が発生しにくい地域」にあり、区内でも「浸水の被害が少ない高台」に属しています。

災害時帰宅ルート

災害等による交通機関断裂の際も、
徒歩約1時間半（大手町より約7.4km）で帰宅可能。
都市部と安心の距離感。

主要ビジネスエリアから、河川や海で隔てられた地区は、橋が使えなくなると何日も自宅に帰れなくなる危険があり、大災害時に家族と合流できない危険があります。「アルティス西ヶ原パークヒルズ」は都内の主要なビジネスエリアと地続きでつながっており万が一の大災害の際にも家族と再会できない危険が少ないエリアに位置しています。

※徒歩所要時間は80mを1分、自転車所要時間は250mを1分（時速15km）で走行したとして計算しています。